

中学生の「税についての作文」

大川税務署長賞

たばこ税に対する私の思い

大川市立大川中学校

三年 近藤 瑠菜

私の父はたばこを吸っています。しかし、二〇二一年までにたばこ税は税率がアップすることが決まっています。さて、父はどうするのでしょうか。

私たち家族は、父、母、姉、私の四大家族です。父がたばこを吸い始めたのは詳しくは分かりませんが、私が覚えている限りでは、昔から吸っていました。たばこは、中毒性があり、昔から吸っているとなかなかやめることができません。またタバコの煙の中には、ニコチン、タール、一酸化炭素などの二〇〇種類以上の有害物質が含まれています。これらの有害物質は、毛細血管の収縮、血圧の上昇、酸素運搬能力の低下、せき、心臓への負担などの影響がある恐ろしいものなのです。また、父みたいにたばこをなかなかやめられないと、肺がんや慢性気管支炎、心臓病などの病気にもかかりやすくなります。

たばこは吸っている人だけでなくその周りにいた人達にも影響があるということを少し前、保健の授業で習いました。喫煙者がたばこから吸い込む煙を主流煙、たばこの先から出る煙を副流煙といいます。喫煙者の近くにいる人が、副流煙

や喫煙者が吐き出す煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。幸いにも父は家の外で吸ってくれてはいますが、少し心配です。

さて今回、たばこ税について調べてみましたが、たばこは税負担が重い商品だということのみなさんは知っていましたか。たばこは、だいたい一箱五百円くらいしますが、そのうちの六十パーセントにあたる約三百円が税負担です。私はそこで疑問に思いました。私達が何か物を買うときは、現在、消費税が八パーセントかかっています。でも、たばこはなぜ六十パーセントという高い税率なのでしょう。

たばこ税には、国たばこ税が二十四・二パーセント、地方たばこ税が二十七・六パーセント、たばこ特別税が三・四パーセント、消費税が七・四パーセントで、合計すると六十二・六パーセントになります。また、たばこは身体に悪く、受動喫煙が問題になってきているので、飲食店などで分煙や禁煙が進みました。たばこを吸わないという考えが世界に浸透してきて、税金を上げると禁煙が進むということから、たばこは増税の対象となりやすいのです。

たばこ税は使いみちが自由なので、福祉や教育など、私達の暮らしと関係のあることに使われているそうです。たばこ税は私達の生活を支えてくれています。私は父が大好きなので、いつまでも健康でいられるように、たばこをやめてほしいと思っています。

